

内科通信 No.14

ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意！

今年も急性胃腸炎が流行しているようです。先日、香取市の小学校に通う31名の子供が急性胃腸炎と診断され、そのうちの何名かからノロウイルスが検出されたそうです。



そこで今回は、ノロウイルスによる感染性胃腸炎についてご紹介しましょう。

主な症状は、吐気、嘔吐、下痢、腹痛です。発熱、頭痛、悪寒などの風邪症状と同じような症状から始まることもあります。

症状が軽い場合は2～3日で治まりますが、免疫力の低下した小児や高齢者の場合、重症化してお亡くなりになる例もありますので、注意が必要です。

症状が治まっても、1週間程度(長いと1ヶ月程度)は排泄物からウイルスが排出されるので、感染を広げないように、引き続き注意が必要です。

ノロウイルスは感染力が強く、主な感染経路は以下の3つです。

- ・ 汚染された食べ物の摂取(例えば貝類を不十分な加熱で摂取など)による経口感染。
- ・ 感染者の排泄物や吐物に触れた手指を通じての接触感染。
- ・ 乾燥した排泄物や吐物から発生した飛沫感染。

感染予防方法は、

- ・ 食品を十分に加熱して食べること。
 - ・ 手洗いうがいをまめにすること。特に、排泄物に触れるトイレの後や、調理・食事の前には必ずよく手を洗うこと
- です。



寒いからと億劫がらずに、手洗いうがい、食品衛生管理に努めましょう。